



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことは、前から知っていたけれど、あらためて話を聞いていくと、ひさんでとても原爆はおそろしいものだと感じました。原爆にまきこまれてしまった人はとても辛いことになるのだと、話を聞いてるだけで感じることができました。多くの人の命をうばった原爆はとても軽い1kgのウランだけで、いっしょ人にして人を消したのだと思います。とても強く、とても強力なものだと感じました。もう二度とこのようなことがあきて多くの命がうばわれないように、平和な暮らしが続くことがなによりも大切なことなのだと思います。ほんの少しのウランだけで多くの人の命をうばい、平和な暮らしはいっしょ人にして消えさるということをいろんな人が知っておくことが大切なことだと思います。また、原爆先生の話を話してお話しはとてもわかりやすく、ときには、おもしろく話してくれるので、どんな世代の人にも聞いてもらいたいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

授業などをやっている戦争などはとても悲しいことである。それでも原爆先生は、その悲しいことをちゃんと教えてくれた。さりとて、う悲しくて声かたがたがたりしてると心が苦しくなると見るのがつらくおきます。

本当にいい系聖馬会をしたのでこのことを一生忘れることなく僕らの世代でも戦争が起ころうないように日々努力したいと思いました。もうさもなくで悲しむ顔は誰も見たくないと絶対に日本国民は分かっている。なので今のようが平和な国が日本たということも分かってない人たちにも分からせていて原爆先生もかみはっていてほしいと僕は思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆の事をなんとなく知っていただけで  
でした。でも、今回原爆の話聞いてその恐しさを  
改めて感じました。原爆がおとされて70年  
以上経っているけれど原爆のせいで、病気になっ  
て今でもなやんでいる人がかわいそうだなと思  
いました。恐しさをとて感じたけれど原爆の事  
を知らない人達がいいたら教えてあげることが大  
切だと思いました。

これから日本に原爆がおとされないうために考  
えなければならぬと思いました。私は、もっと  
日本と外国がもっと良い関係を築かないといけ  
ないと思います。

今回の原爆の話聞き、とても良い経験にな  
りました。これから原爆のことをよく考えよう  
と思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原爆先生(池田 玄)ってあじけい!」私は、先生の授  
業を受けて思いました。最初は、どんな形のはく爆が広島  
長崎に落ちたのかは知りませんでした。先生の話しを聞いて  
いくと、ゴリゴリボールのサイズの物が落ちて、広島が  
一瞬で灰になりました。と言った時は、ものすごく  
ショックを受けました。

私は、先生のお父さんの話しが心に残ってしまっただけの皮が  
か、ドクドクにはかきつけてくのは知っていました。でもそれが  
被爆者にとって、苦しいことなのか。軍人たちに比べて心か  
かかるとか、実感しました。命令が出されるたびに、私は  
とても怖くなりました。軍の人たちにとっては、もう「やれ」の一言が  
心のどかかと言っているように思いました。これは「けつ」を9日  
もやり続けるのは、とても大変で、おまじえいたを思いました。  
これは「けつ」を、原爆先生は友達に教えることができました。  
これは人々に貴重な体験をしてもらうために「広島」について、  
もっと知る必要があると思います。今は、色々な取り組み  
がすすまっています。この時のことを心に残し、次の世代に  
つたがたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、この間の授業で広島原爆の事を、ていねいに、くわしくたくさん教えてくれた、おかげで、色々な事が分かったし、学ぶことができました。

原爆も地震などと同じでいつくるかも分からないこともあるということが分かりました。広島に、原爆が落ちるとは、誰も予想をしていなかったんだと思います。だから、なにも知らずに、暮らしていた広島の人々は、急に、原爆が落ちてきて、とても大変だったということが、人々がにげて、助けを求めているという様子を聞いて感じました。その次にも、長崎にも原爆が落ちたと聞いて、長崎も、広島と同じ事が起きていたのかなと思いました。

このような事を、次の世代にも教え、知ってもらいたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆がおそろいと感じた。たくさんの放射線と熱が広島のおそろい、とても悲惨なことになった。原爆の話を読み、当時の写真を見たとき、とてもこわくて原爆が今の日本におちたらどうしよう、と思った。原爆をおとしたアメリカも悪いが、戦争にのた日本も悪い。もし、日本とアメリカが戦争をしていなかったら、せくなた人たちも今、ここにいたかもしれない。十発の原爆が運命を変えた。原爆先生のお父さんは、軍隊で、広島にちょうどいたが助かった。原爆先生はそのときの町の様子を語ってくれたが、想像すると、とても気持ちが悪かった。その景色を原爆先生のお父さんが見ていたと思うと、すごいと思った。私が想像した景色をおと考えると、こわくなり、とても悲しかった。原爆がおちたときの景色を二度と後の世代に見せないために、戦争を、起こしたくない。それから、かく兵器をはい止する活動に参加したいと思った。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私が、一番最初に原爆のことを知ったのは、5才の時に原爆のことかかいてあるマンガを読んだことでした。原爆先生の話を聞いて、私は、このマンガより、何倍も何倍も悲惨な光景を実際に見た義三さんは、とてもつらかったと思いました。助けを求める人々の声、ついでに、きまで、ふつうだ、た人、変わり果てた景色、私は、想像しただけで、とてもこわく、泣きそうな気持ちになりました。原爆先生には、原爆のいかなどを教えてくださいました。特に印象に残ったのは、原爆の温度です。太陽の表面温度よりも高いことにおどろき、その高温で焼かれた人たちが、変わり果ててしまうことを聞いて、原爆のおそろしさがいよいよ分かりました。この話を聞いて、私は、世界唯一のひ爆した国として、後世に語りつぐだけでなく、全世界に広め、原爆のおそろしさを、たくさんの人に伝えていくことが大切だと思いました。そして、原爆の悲惨を実際に見た人たちに話を聞いていくべきと考えました。世界をいっしょんでいかに変える「原爆」、ふたぶんあまり聞くことのできない、実際にあつた話、世界で大きな問題となっている核爆弾について、今回の体験は、私にとり、とても貴重で、自分のためになりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業をうけて、いろいろなことを知りまし  
た。まず一つ目は、原爆をける都市がどこです。第一  
候補の都市が広島、小倉、長山崎というのは知っ  
ていたけど、第二候補があるのは知らなかった。横濱  
新潟、京都というのも知らなかったのをおどろきました。  
しかも、京都は、最初、破かいの効果をためすのが一番  
だと言っていたのに、文化財があるのじゃかいさめた  
いうのもおどろきました。また、文化財が残るの  
は良かった。と思いました。二つ目は、7000℃の少年という  
題名です。最初は意味が全然分からなかったけど、  
話を聞いて意味が分かりました。まず広島に投下された原爆  
の前がリトルボーイで、リトルボーイを日本語にすると少年で、  
リトルボーイが爆破した時の温度が7000℃おの下、  
7000℃の少年という題名がよく分かりました。この授業  
を受けて知友と学友とを忘れないでいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆のおそろさを改めて知りました。

ぼくは、原爆が広島に落ちたのは「たまたまた」と

思っていました。ところが、広島に落ちたと聞いて

ビックリしました。原爆が落ちる近くに行ったら、家など

にいてもおきとは「さねて、にげる場所がないので

大変です。その原爆の名前が「リトルボーイ」です。

「リトルボーイ」は4枚あり、その強さは太陽の表面温度

より強い7000°以上もあり、「リトルボーイ」の中心は100万°

あります。地上では300°にすぎ、ものすごく熱いです。

これは、体の水分をとって人をとろかすほどの温度

です。ひらが全てやけどして手をさしのべてあげても

「アロウ」とはがれてしまうそうです。

今、ここにぼくが生きていることは奇跡なので

す。ぼくの先祖が生きていたからぼくはここに生きている

のです。これから命を大切にしていきたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

1月21日に原爆先生がいらした。原爆先生の父親はけがさえなかったが原爆の被害にあった。その後命令が来た。広島市に向かえというものだった。トラックで向かっていた。向かっているときに広島市から出る人たちに何度も「兵隊さん、目かけて」と言われていた。しかしトラックに乗せようとした手を貸したが手をつかんだときに皮がとれてしまった。そして広島市に来た。広島市はかきばかりだった。原爆先生の父親が命令されたことけたことは遺体を火葬くことだった。遺体も見つけたがものすごい悪臭がしたもうた、でも何日かやっていくうちに慣れてらしい。自分たちたら絶対慣れないと思う。しかもその作業を約6日やったらしい。なぜ6日もやったのか気になった。そして6日もやったことの驚きもあった。原爆が落ちて9日やっと広島市から出た。この話を聞いて原爆の破壊力の大きさを感じた。遺体も処理するだけでも6日かかった。じゃあかきも処理するのはどれくらいかかるのだろうか。どうやって今の広島になったのか新しい興味を持った。この原爆先生の話が良い経験となった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受けて原爆がものすごくおそろしいものというのを実感しました。原爆先生の話を聞いていて私は原爆なんてもう二度と起きなればいいのにと思いました。原爆先生のお父さんが実際に体験した原爆は広島におとされました。その原爆は広島町をほとんど全焼させた大きいものでした。原爆先生のお父さんはその原爆<sup>目撃</sup>に自衛隊と言立場でそうぐうし原爆で大けがをおった広島の人々を助おうとするのですが、原爆で焼かれた皮がはがれてしまいなかなか助けられなくどうしたら良いか分からなかったと原爆先生のお父さんは言っていました。私ももし同じ立場だったらそうするしかなかったと思います。私は、原爆先生の話しを聞いて改めて原爆はものすごくおそろしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

7000℃の少年と聞いても最初は意味も分かりませんでした。ですが話を聞いていくと原子爆弾が爆発したときの温度ということを知りました。太陽よりもあつく、人間の体の中の水分がすべてなくなり、すみのかたまりになってしまうという話と映像を見たとき何も考えられずただこんなことはもうしてはいけないという思いしか浮かんで"きませんでした。原爆先生のお父さん、池田義三さんの体験したことを話していただくだけでも、ごんこくで悲しい気持ちになるのに、本当に体験したと思うと、私には無理だと思いました。そして原子爆弾に60kgのウランがのっていたらどれだけの云が、いかにあつたかと考えると恐いです。そして、原爆先生の特別授業という貴重な体験を生かし、原子爆弾のことをもっとしり、いろんな人にひろめていきたいです。また、広島原爆のようなことがどこもおこらないようにするということがとても大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業は、とてもわかりやすく、何日に何をして、どう思ったのかをしっかりと説明してくれて、とても勉強になりました。私がいまだに残っていることは、被爆者たちについてです。被爆者は、24万人もいて、とても痛いはずなのに、むしろ助けを求めていることに私は、とてもびっくりしました。最後に池田さんの動画を見て、泣いているすかたをみて、とてもびっくりして、さ"んごう、風景た"ったんた"ろうな"と思いました。

私は今回の授業で、原子爆弾のこわさと、もう二度と起こしてはいけないをを改めて感じました。起きないように、私たちはこれからこのことを伝えて、苦しむ人たちの顔をみないようにしていきたいです。今回、知らなかったことは"かりて"、原爆先生が、演じてくれた、爆発の時の音が、す"くリアルで、落ちてきたときの音がす"くビ"ッ"ク"リして、その場にいた人たちは、その音よりもっと大きな音としょうげ"き波"がおどってきて、とてもこわかったんた"ろうな"と思いました。原爆症など"もあると聞いて、終わったあとも苦しむ人がいるので、二度とおこらないで"ほしい"と思います。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私たちが生まれる前に原爆が落とされたのは知、  
ていましたが、こんなにも恐ろしい出来事だとは分か  
りませんでした。

原爆先生では、資料を元にどのような事がいつ起きたのかを  
映像や写真で細かく分かりやすいように教えてくれま  
した。

例えば、広島に落とされた原爆の名前「リトルボーイ」、これ  
は、小年や小さな子、という意味です。こを話している時に  
今日の題「7000℃の小年」という題の意味が分かりました。

「小年」という意味はこの→原子爆弾のことだと思いました。そして、7  
000℃の原爆、とほります。

今回の特別授業で分かった事が三つあります。一つ目  
は、原弾を落とすには時間がかかる事、二つ目は、原弾を  
落とす所を決めている事、三つ目は、なにより被爆率が死亡  
率を30%も上回っている事です。原弾をすどにポコッポコッと落  
しているのに対して、決められた(ある)条件をクリアした都市ではな  
いとダメということ、原弾の被害がそのすどに広がる所を選んでいる  
事、そして、被爆している90%の中で、ほとんどの人がすどに亡  
かっている事です。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業をして、原爆の関心がより深まりました。今までは原爆についてくわしく知りませんでした。原爆先生の話を聞いたことで、原爆でどのくらいの被害が出たのかなどがよく分かりました。また、実際に原爆が落ちたときの様子や被爆してしま、人々の様子などもくわしく教えてもら、たことで、原爆のおそろしさというのか、非常に心に残りました。特に心に残、たのが、原爆による被害です。原子爆弾は爆発する際に高温の熱を発生することは分か、ていましたが、球体にな、たときの表面温度が太陽の6000℃よりも熱い7000℃だということを知り、とても危険なものかということもよく分かりました。このころはウラニは1kgしか入ることかできない技術でしたが、今ではその1千倍のウラニが積み込ま、ていることを知り、とてもおどろきました。今後は、戦争が起きないようにどうすればいいのか考えてい、きたいです。


 原爆先生の特別授業を受講して じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は、ただ「爆はつするぞ」けかと思っ、て「た  
 けい、衝撃波も放射線も無いぞ」ありとてもくわ  
 しく分かりました。池田さんのお話を聞いて  
 して、昔とんてい「た」た「た」と分かりま  
 した。「た」た「た」に「かま」を、さ「さ」ま  
 生かす「さ」とする人が「さ」と思いました。  
 それに、原爆を落として、たまたま広島に  
 おるた「た」けかと思っ、て「た」けか、てきと  
 いふた、し「し」かり「さ」うけか「さ」あることか  
 節、て「た」けか「さ」ましました。温度は何十度  
 かと思っ、て「た」けか「何千度」という温度  
 だ。それでも生かして「た」ら「さ」か「た」わ  
 っ「た」ましました。広島を「た」か「た」した爆  
 た「た」か「さ」ら「た」ら、さ「さ」ら「た」の「た」け  
 っ「た」ら「た」か「た」も「た」けか「さ」ま  
 した。私は、初めて原爆の「た」ら「た」ら  
 「た」を「た」た「た」て「た」も「た」ら「た」  
 た「た」ら「た」か、む「た」か「た」ら「た」か「た」て  
 免カ強に「た」て「た」ら。この「た」は「た」体験に



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆で多くの方が亡くなり、広島と長崎で大きな被害が出たということは知っていたが、具体的な話しを聞いて、気味の悪い怖さを感じました。

特に、池田義三さんが元安川へ行こうとする途中「助けい」と兵隊に助けを求める被爆者を頭の中で想像すると、背筋に寒気が走りました。ですが、本当に被爆者の姿は私が想像した以上に恐ろしいのだらうなと思いました。また、原子力爆弾はウラニが使われていることを初めて知り、ゴルフボール1個分の体積のウラニだけで広島市といったものが焼け野原になることが分かりました。原爆の技術が進んだ今、広島だけではなく、それ以上の被害が出る原爆を約15000発、各国が持っているので、また戦争が起らないように自分達が協力しなければならぬと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受講し、何とも言えない気持ちになりました。足の裏が気持ち悪くなるような、きょうふにおそわれました。あれが人間の作り出したものかと思うと、もうふるえがとまりません。

私が1番先生から学んだことは、原爆を二度使えばいいという事です。原爆は太陽よりも高い約7000℃以上の熱を発生し人を焼き殺す。そう聞いたと私が1番おどろきました。私は、実際に体験にわけでもなく、その体験して苦しんでいる人にあつたことがないので想像しかできませんがとても苦しかったと思います。皮膚がとけ、肉がまる見えになってしまったら、私はもう生きる気もなくなってしまうと思います。

原爆犠牲のお話を聞き、もう原爆は使わない、使いたくない!と思っました。この広島原爆の1000倍のいりよくのあるものがいくつもあると思うとおそろいである。私は将来このような苦しいことが二度とないように、苦しむ人を見ないために、原爆先生のような原爆のおそろいさを伝えられるように努力したいと思います。日本人として原爆についてもっと知ってほしいとおもったおかしなように思います。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

今回、私は原爆先生の話を知り、いろいろなことを知りました。たとえば、原子爆弾の落ちる直前前や、人々はどのようにして身を守ったのかと、原爆先生の話し方にもちょっとびっくりと聞きやすかったです。またクイズや問題もあったので、楽しかったし勉強にもなりました。

けど、とちゃうで、原爆先生が飛行機の音をマイクでやって、だまりこいでしまいました。すると来た!!!と、体育館全体に大きな原爆先生の声があまりました。その時私は、本当に「はくたんか来たかのようにおどろきました。その時私は「昔の人は、こんなまようぶに、おびえてたんだ」と思いました。最後に原爆先生のお父さんの話を聞いて、とても心か悲しくなりました。そして、学んだことは、私はせんそうをはたし、することです。せんそうをやることで、大きな力がかかってくるからです。でも、原爆先生が教えてくれたおかげで、いろいろなことを知りました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回原爆<sup>じゆこう</sup>について学習をして、原爆が起きたときはどれだけ大変な思いをしたのかをお話を聞いていて感じました。リトルボーイは、4トにもいます。それが、日本の広島に落ちてくると一緒に人が死んでしまうのを知りました。そして、200mほどの球体は表面温度は太陽の表面温度、6000℃よりも高い7000℃というのを知ることができました。おもしろい事が1つありました。それは、リトルボーイは中が薬材はプルトウランというものでしたという事です。しかも、リトルボーイには60kgのウランが入っていたのにその時は1kgしか熱焼けたかったという事です。なぜ、1kgしか熱焼けたかったのかという点、当時の技術ではできなかったからという事です。この、当時の技術ではできなかったからと言った事が、アメリカの技術でも、できなかったという事がビックリしました。

原爆先生に原爆について教えていただいた事はとても役立ちました。原爆への関心がより深まりました。原爆について教えていただいた事を日々の生活でも思い出していきたいと思えます。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

私は、祖父が長崎に住んでおり、実際に戦争を体験した方です。しかし、祖父とは感明に会えない上に祖父は戦争に関してを一切口にしない人なので、被爆についてあまり知ることもなく、また私自身もあまり知らずとせず、いきました。2015年に終戦から70年となり、テレビで原子爆弾について見たとき、とても痛い思いになりました。私はその時すぐに目を背けてしまいました。そして今回、原爆先生に原子爆弾の悲惨さを改めて学び、人類が犯した過ちの重大さを感じました。焼けてたただれ、はかれ落ちる皮ふ、一瞬にして消え去った人、全身火傷で赤くはれたはだ……今までは比喻だと思っていた事が全て実際に起こった事柄だったと知り、胸が張り裂ける思いがしました。今私言に必要で求められることは、原爆の悲惨さを後世に伝え、受け継いでいくことだと思えます。今日教えて頂いたように生かさを伝えられることはできないかも知れないけれど、日本で平和を非ぬる国民として少しでも戦争の悲惨さを伝えていけるように、今日の経験を生かしてこれから過を繰り返さないでいきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて、原爆の怖さを改めて感じました。広島に投下された原爆は、ウランがた、た1kgしか入っていないのに町全体を熱線、衝撃波、放射線であっという間にしておぼろけと書いてソク...としました。被害者が24万人いて死者が14万人出ました。10万人目かかると、しかし痛かったです。爆心地からはなれていても近くの人が大勢いたので、原爆は怖いと思いました。

原爆先生の父は戦争を経験していて、映像を見ました。泣いている所もあって、戦争という字にこぼすことは二度としてはいけないと感じました。

今回は原爆先生の授業を受講して、思い感じたことは、二度と戦争をしてはいけないということだと思います。またこのような事を起こすと、また復興も大変だし、それ以上に被害者の家族が悲しくなると思います。このような原爆を起すような原因を作らないようにしなければ、これからは、平和でいられるようにしてほしいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、今回の特別授業を受けて、原爆の事や原爆にあつた人の様子などを教えてもらい、頭の中で原爆があつた広島の様子を想像することができました。原爆は、表面が7000℃もあり、太陽よりも熱いということが分かりました。人は、原爆が落ちた瞬間、光のように消えていくと聞きました。自分が原爆にあつたら、どのような行動をとるでしょうか。原爆にあつた人たちは、水が入っている舟や川に入ったり、川に飛び込んだりしました。私もそのような行動をとると思います。高温の熱で体がやけどしたら、やはり、海や川、水の中に入りたくはります。でも、その水がだんだんと熱くなってやけどしてしまうのです。原爆先生の特別授業を受けて、原爆がすごく熱い、という事や原爆にあつた人は、どのような行動をしたのかという事が分かり、すごく勉強になりました。原爆先生は、すごく感情を入れて話してくれました。原爆が落ちたときの音など、すごくびっくりしたり、そんな感じの音だったんだなと思うことができました。

初めて、この授業を受けたけれど、すごく勉強に打ったことがたくさんありました。親にその事を話したりして、これから、原爆があつたことを忘れるにしないでいくと思います。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話聞いて、「原爆」というのは、おそろしいなと思いました。

おそろしいなと思った理由は、「原爆」という名前もこわいけど、生きている人を不要にするというところもおそろしいなと思いました。

びっくりしたことは原爆を落とす都市の候補は横浜や京都などが入っていたことにびっくりしました。

原爆が落とされたあとの都市の空間が真空地帯という点もびっくりしました。

原爆を落として、その原爆の衝撃波の速さが毎秒440mは速いと思いました。

そして原爆先生の話聞いて感じたことは、おそろしくて、こわいなと思いました。

原爆一つで三つの都市がこわさ出してしまうこと、もうこのようなことが起きないように感じました。教えてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は原爆先生の話しを聞いて、70000°Cの少年はすごいなと思いました。7000°Cの少年は生きてることがきせきなのに、死者を運んだ、広島の人々をたすけて117少年はえらいと思いました。生きている人の担当など全力でとりくんで、いることがすごいと思いました。原爆は、600mから落ちてきたとき、かわいなと思いました。衝撃波の速さは毎秒440m音速は340mという落ちてくる速さよりも音速の方が速いため、1つ落ちてくるかわかからないうちにその近くにいた人はビックリしたと思いました。原爆が落ちた時、いっしょの人に人が消えたということがあります。かわいなと思いました。原爆の音は、「リトルボーイ」といわれていた少年とも呼ばれていたらしい。リトルボーイは約4tの重さで長さが3.12mです。リトルボーイは4tもあるとき、17隻いなと思いました。でも電話局のトイレなどにいた人はきせき的に生きていてとき、17本当にきせきまだなと思いました。でも熱線が半分が死んでしまったらしいです。私は話をきいて、人の命の大切さ、人を助ける気持ちの大切さであらためて実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島に投下された原爆「リトルボーイ」。約4tもある原爆を落とされたことを知って、おどろきました。「リトルボーイ」が落とされたしゅんかん、多くの人達が「いっしゅんにして消えたことを考えると、とてもおそろしいな」と思いました。亡くなった人が、およそ14万人いて、それを想像しても、とてもかぞえきれないほどの、たくさんの人達が亡くなってしまい、とてもかなしい気持ちになります。いままでになかった熱さが広島の人達をおそろしてきたと聞いて、自分のところにも来たらどうなってしまうのか、と驚いたりしました。広島で多くの人々が亡くなった原爆。私たちは体験をしたことがないので、その亡くなった人達の気持ち、つらさが分かりません。かなしいほどではないなと思いました。ウランは、ゴルフボール、一個だけではかいか「て」きるようなもので、それが広島に落ちたということ、それが「とてもおそろしいな」と思いました。